

評価

A:よい

B:おおむねよい

C:不十分

総合評価			学校評議員記入欄	
			評価	コメント
本校定時制は、安心して登校できる居場所として認識されており、生徒たちは大変落ち着いて、いじめや体罰などのない、安全で安心な学校生活を送っている。生徒会活動や生徒相談等においても、少人数の利点を生かした学校づくりができています。また校外との関係では、生徒への支援について、地域の関係機関と連携して取り組めるように情報交換会や公開授業等を昨年より多く行っている。 学校において生徒が一番多くの時間を過ごすのは授業である。授業での具体的な場面において、コミュニケーション能力や社会性、社会的常識、キャリアプランニング能力などを、どう育成していくかが課題であるので、授業方法の検討、研究は今後も更に必要になってくる。定時制のさらなる充実を目指して、個々の生徒に対する指導体制をより一層研究していきたい。			A	- よく生徒を見つめながら聞きとり話している姿は尊い。 - 先生方から受ける感じで、大変熱心に教育がなされていると思っています。 - 何年かかかったが、今年度卒業することを目ざして無事巣立ったことを聞きました。安心して登校し、学べる場所であったことに感謝です。 - これまでの事業の取組に敬意を表するとともにその成果を期待します。 - 定時制については自分自身ほとんど接点がなく、その結果その様子もほとんどわかりませんが、多様な生徒の受け皿として重要と考えます。
成果と課題	評価	改善策・向上策	学校評議員記入欄	
			評価	コメント
重点目標① 学習・生徒指導の両面から生徒一人ひとりを大切にする教育活動を推進し、社会に出てからも通用するような生きる力と豊かな感性をはぐくむ。 【成果】習熟度別授業や成績不振者への補習を実施した。面接の機会を増やして、丁寧に生徒の相談に乗ることができた。 【課題】個々の生徒の学力差が大きいと、限られた時間内では指導等困難な面があった。	A	各教科において生徒自身が興味・関心を持つよう教材や授業の方法を工夫し、教員が生徒一人ひとりに対して粘り強く働きかける。また、生徒一人ひとりに時間をかけて、自己の在り方や生き方について考えさせる。	A	- 少人数の利点を生かして先生方が頑張っている。 - 先生方の粘り強い働きかけの成果が生徒ひとりひとりに出ていると感じています。 - 昨年度と同じですが、習熟度別授業や成績不振者への補習は大変手間が掛ることと推察します。家庭環境等が強く影響しますので、保護者（家庭）と協力しての指導に強く期待します。

重点目標② 生徒が希望する進路を実現するための基礎的な学力及びコミュニケーション能力を育み、社会的適応力を高める。 【成果】様々な外部講師を招いて講習会を実施したことにより、生徒自身普段と異なる刺激を受けることができ、生活態度の向上、社会への意識向上がみられた。 【課題】生徒会活動や生活体験発表会などへの参加意欲に乏しい生徒への指導が困難であった。また発達障害のある生徒に対して十分な支援ができなかった。	B	今後も様々な講習会や講演会を計画し生徒に自己の在り方や生き方について刺激と情報を与える。そして、行事等に参加し難い生徒に対しては、普段から社会性を身につけさせられるよう意識しながら、必要な場面で、必要なことばをかけて粘り強く指導していく。	B	・社会性の欠けている生徒もいてご苦労も多いと思います。 ・今後も是非、質のよい講演会や講習会を企画してほしい。 ・木曽町を始め周辺の行政や公民館と協力して行事の企画段階からの参加が有効と思います。また、短期で良いと思いますので、夏期休暇等を利用したインターンシップをご検討下さい。
重点目標③ さまざまな活動をとoshi、地域との連携と開かれた学校づくりを推進する。 【成果】定時制PTA・説明会等において、同時に授業公開を実施し、性教育講話などの講演会も地域に公開して行なった。また地域の保健師や支援員との交流も持てた。 【課題】地域開催行事に諸事情により参加できなかった。	A	町村の保健師や支援員との交流により、生徒へ多面的な指導ができるようになっていっているので今後も継続していきたい。地域との連携を強化するため、ホームページを定期的に更新するなどして、地域にもっと情報を発信していく必要がある。生徒会には地域開催行事への積極的参加も促していきたい。	A	・今後も地域との連携を工夫して進めていってほしい。 ・上の重点目標②にも述べましたが、周辺の行政や公民館と協力して行事の企画段階からの参加が有効と思います。
重点目標④ いじめ・体罰等のない安心かつ安全な学校づくりをすすめる。 【成果】生徒対象の講演・学習会を開催し、人権意識や個人の尊重について理解を深めた。職員対象の非違行為防止研修会により、体罰防止の意識向上が見られた。夜間、生徒が安全に下校できるために、気象や交通の情報把握に注意を払って対応できた。 【課題】コミュニケーション不足による生徒間のトラブルが見られた。	A	更なる研修会や学習会を行ないながら、コミュニケーション能力の向上や社会性の定着に向けての対策等進める必要がある。鉄道状況については木曽福島駅と連絡を取りあっているが、不測の事態・重大な気象状況（台風、大雪等）の場合はあらかじめ適切な対応策がとれるようにしておく必要がある。	A	・生徒同志よくわかり合っている。どこか明るい。 ・携帯やスマホ等SNSを用いたイジメはなかなか把握しにくい。個別指導が大切だと思います。 自然災害への対応は一斉メール配信システムを利用されていると思いますが、その登録の義務化をご検討下さい。

評価項目		評価	改善策・向上策	学校評議員記入欄	
				評価	コメント
学習指導	授業内容（補充授業を含む）の充実と出席率の向上	B	生徒の実態に応じた課題や教材の選定により、生徒の興味・関心を引き出すことで、基礎学力の定着や出席率の向上をはかる。職員間での授業の相互参観も計画的に実施したい。著しく不振な教科を持つ生徒、欠席の多い生徒もいるが、粘り強く指導をしていきたい。	B	- 個性、能力差の大きい生徒で、ご苦労が多いと思います。 - 教職員の負担過多となりがちですので、自習室解放等の教室の利用充実をご検討下さい。
進路指導	進路目標の明確化と進路実現	B	低学年から地域とも連携して、就労体験や就労を奨励し、進路に対する意識付けに取り組んでいきたい。	B	- 個人差が大きいので大変と思います。 - 短期でもインターンシップが効果的と考えます。充実策をご検討下さい。
	キャリア教育の推進	B	低学年から就労見学や就労体験を奨励するとともに、自己の在り方や生き方を考えられる講話や研修会を引き続き実施し、個々の生徒に応じて相談や指導をしていく。	B	- 個人差が大きいので大変と思います。 - 初年時からの短期インターンシップ（複数回）をご検討下さい。
自主活動	クラブ・生徒会活動等自主活動の活性化	B	大会前などを中心にクラブ活動の時間を保障し、春と秋の大会への積極的な参加を促す。また文化部の活動内容の検討が必要である。生徒会活動においては、職員全体で、適切な助言・協力をしていく。	B	- 時間的な制約が大きいと思います。 - 成果を期待します。
	社会的常識を持つ人間の育成	B	行事等に参加できない生徒が参加しやすいような環境作りのために、コミュニケーション能力の向上を図り、社会常識やルールについて授業や行事など、機会あるごとに指導する。	B	- 文化祭など大いに活躍できるようになれば自信もできるでしょうが…。 - 家庭での教育（基本的なモラルの醸成）が基本と考えます。保護者の協力が不可欠ですので、問題を抱える生徒に対しては定期的な家庭訪問が必要と思います。

生活指導	全職員による生徒の状況把握ならびに相談体制の充実	A	毎週の職員連絡会で、生徒の出欠席や状況を確認して、きめ細かい指導内容を随時検討し、対応する。また、より多くの校内外研修の機会等を持ち、学校全体で支援していく体制を継続していく。	A	- よくやって下さっていると思っています。 - 既に利用されているとは思いますが、職員連絡会では出欠状況との一覧表が有効です。
	家庭・地域との連携	A	家庭については当然であるが、児童相談所や町村の保健師等とも連絡を密に取り、学校生活に早く適応できるように、また卒業後のことも念頭において連携を深めていく。	A	- 家庭もさまざまで苦労の多いことと思います。 - 卒業後、課題が残る場合もあり、連携のしかた、工夫が必要。 家庭によっては、「高校生にもなって先生に細かな相談はできないし…」と学校に遠慮し、家庭でかかえてしまう場合もある。（その後悩んでいる事を話し合えてよかったとのこと）学校の方針が浸透するような工夫を。 - 昨年度も指摘させていただきましたが、ウェブページの活用をご検討下さい。
学校運営	緊急時保護者への連絡体制の完備	A	緊急連絡メールによる緊急連絡網が整備され即時性が向上した。しかし、未登録の場合もあるので、生徒・保護者の登録状況については定期的に確認する。	A	昨年度も指摘させていただきましたが、義務化が不可欠です。昨年度は自然災害が多い年でしたので保護者の理解も得られやすいと思います。
	学校ホームページ・パンフレットの充実	B	ホームページは定期的に更新し、パンフレットについては毎年見直しを行い、中学生や保護者に分かりやすい広報活動を行う。	B	- 大いにPRして下さい。定時の正しい姿を。 - 昨年度も指摘させていただきましたが、生徒の企画段階からの参加をご検討下さい。
	授業等の公開	A	授業公開の時期や回数については、引き続き検討していく。また、授業見学の希望があれば、随時行っていく方針は継続したい。	A	- 随時見学できることは本当にありがたい。 - 保護者の関心は高いと思いますので、是非、年複数回の開催をご検討下さい。